

QUALITY PRIDE 日本鑄造

お客様から信頼される
「品質の日本鑄造」
を目指す

ISO規格に求められている
要求事項を満たす事

QMSの改善の継続

品質目標

お客様からの苦情件数

91件/年 以下
(49%減)

品質コスト売上高比率

0.1%/年 以下
(総額15百万円以下)

重点活動課題

品質トラブルの 削減

- 製造条件／検査方法の見直し、金属3DPインナーキラー適用拡大
- 過去クレームの対策内容の整理／教育による、苦情低減：**91件/年以下**
- 研磨定盤、半導体部品、特車部品の苦情割合**0.25%**(出荷個数比率) 以下
- 改鑄低減：川崎工場**10件/年以下**

標準の順守

- 製造指示書内容の確実な現場への伝達(トレースチェックによるフォロー継続)
- 各部・工場での作業標準の整備の継続
- BOXへの完全移行(NASの完全停止)

ISOに即した 品質活動の 推進

- QA教育の継続による、QA意識の浸透／充実化

品質月間活動の
継続／充実化

- ① 社長メッセージの発信
- ② Eラーニング方式によるQA教育の実施
- ③ 品質標語の募集

- 内部監査員の充実化による品質意識の浸透／充実化
- 力量評価表の充実
- 外注業者への監査体制の継続